

経営比較分析表（令和元年度決算）

徳島県つるぎ町 つるぎ町立半田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	対象	ド透	救臨へ災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
8,697	12,311	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

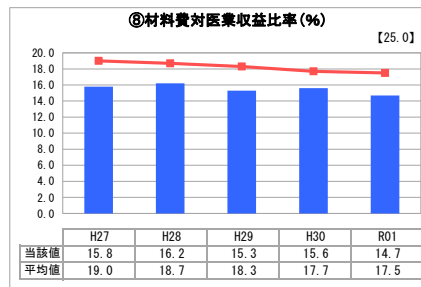
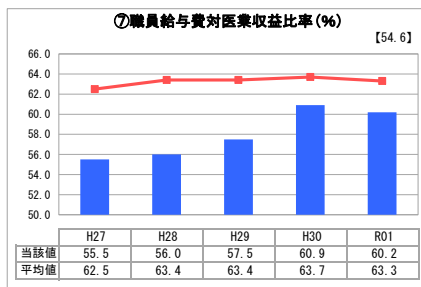
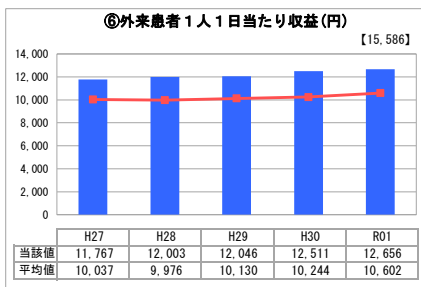
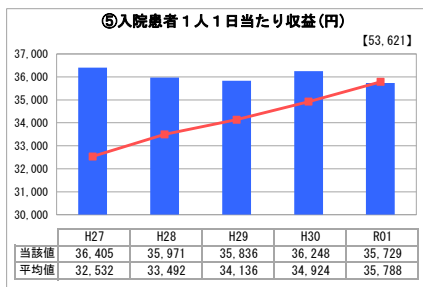
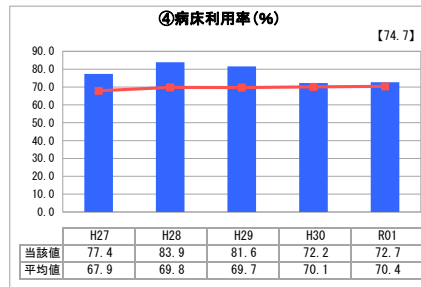
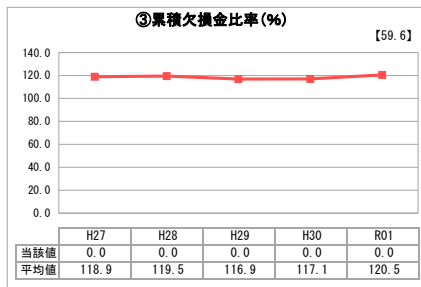
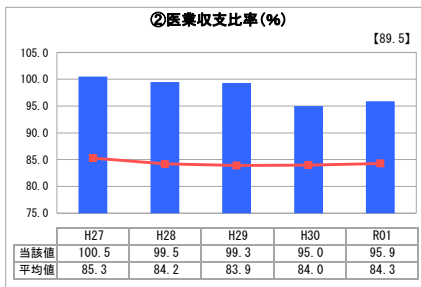
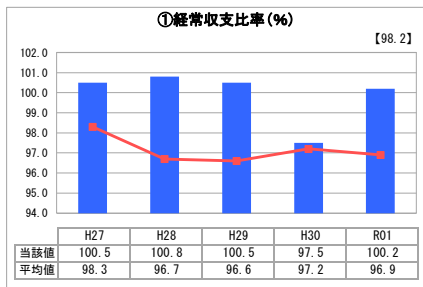
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
120	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	120
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
120	-	120

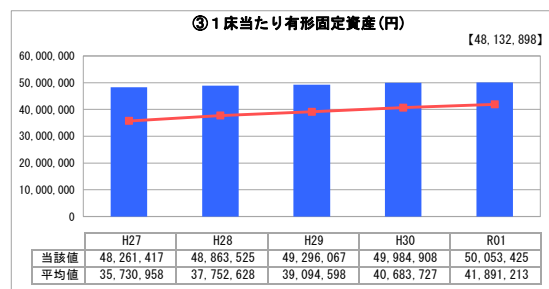
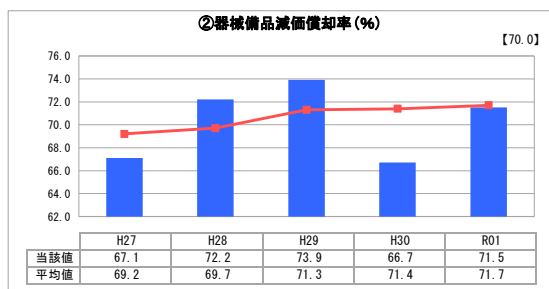
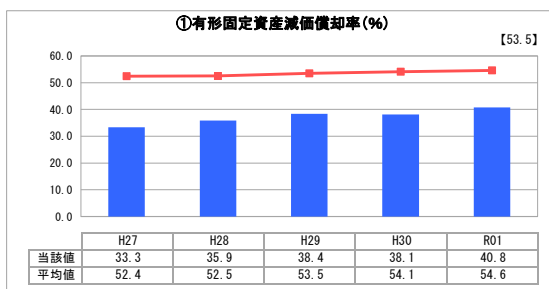
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

徳島県西部医療圏における5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)を担っている。特に、産科医療・小児医療・透折医療においては、当該地域において拠点となる医療機能である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度大きく悪化した①経常収支比率は、純損益も含め黒字への復帰を果たすことができた。ただ、本業である②医業収支比率の改善による黒字化への転換ではなく、他会計繰入金の上昇や、補助金収益化の影響が大きく、医業活動は依然として悪化傾向にある。特に、平成30年度からの入院収益の落ち込みが顕著であり、④病床利用率の早期改善が急務な状況である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率：施設全体としては、耐震化工事に伴う病棟立替が大きく影響し、年数も経過しておらず、類似平均に比べ老朽化は進んでいない。
②器械備品減価償却率：平成30年度に大型事業となった電子カルテ更新事業を行ったことによる令和元年度からの償却開始の影響が、比率を大きく押し上げる結果となっている。その他医療器械においても、耐用年数が近づいている、または超過するものもあり、計画的な器械更新が必要と考える。

全体総括

新公立病院改革プランで示した役割を果たすため、当該医療圏での役割分担による機能分化を推進しながら、地域住民が安心して暮らせる切れ目のない医療提供体制の維持・確保に努めた。しかし、医師数の減少を始めとする医療提供体制の若干の縮小を見せるなど、多くの領域で相違が生じ、病院経営の観点からは非常に厳しい年度となった。今後、当院が地域医療を守る中核病院としての責務を全う出来るよう、今後の展開を模索しながら、安定した経営基盤の構築に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。